

輸送動向について(平成21年度第3 - 四半期)

平成22年1月

1. 輸送概況

第3 - 四半期は、10月に非常に強い勢力の台風18号が上陸したほか、12月には日本海縦貫線等において大雪による輸送障害が発生し、全体では高速貨292本、専貨16本が運休となった。

荷動きについては、平成20年秋以降の世界同時不況から1年が経過し、製造業では生産活動に持ち直しの兆しが見られたものの、長引く景気低迷に伴う需要不足により国内出荷が低迷し、全体では低調に推移した。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、積合せ貨物、自動車部品、農産品・青果物などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比92.4%となった。紙・パルプ、積合せ貨物、自動車部品は、長引く景気低迷に伴う国内の需要不足により減送となった。また、農産品・青果物は、政府米及び民間流通米が大きく減送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油が前年を上回り、全体では前年比100.2%となった。セメント・石灰石は一部顧客の輸送中止により減送となった。一方、石油は昨年価格が高騰したため消費が大幅に減少した反動により、大きく増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	3 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,440	5,886	92.4%
車扱	2,952	2,946	100.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	657	776	-119	84.7%
	化学工業品	503	525	-22	95.8%
	化学薬品	399	401	-2	99.5%
	食料工業品	850	886	-36	95.9%
	紙・パルプ	783	836	-53	93.7%
	他工業品	386	437	-51	88.3%
	積合せ貨物	597	647	-50	92.3%
	自動車部品	187	206	-19	90.8%
	家電・情報機器	112	115	-3	97.4%
	エコ関連物資	92	94	-2	97.9%
	その他	875	965	-90	90.7%
	コンテナ計	5,440	5,886	-446	92.4%
車扱	石油	2,048	1,942	106	105.5%
	セメント・石灰石	326	374	-48	87.0%
	車両	301	293	8	102.5%
	その他	279	337	-58	82.9%
	車扱計	2,952	2,946	6	100.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)